

松原市立松原第七中学校 3年2組 人間関係学科 (H R S) 指導案
 「見方を変えれば 世界は広がる！」

【パッケージ名】

進路選択に向けて、積極的な考え方を手に入れよう！

【パッケージの流れ】

第1時(本時) 「見方を変えれば 世界は広がる！」

第2時 「ストレスを上手にコントロールしよう」

【本時のターゲットスキル】

対人関係(物事を多角的にとらえ、思い込みを客観的に見直してみる)

自己信頼(積極的な思考法を知る)

	時間	活動の流れ(指導者の教示・子どもの反応と行動)	留意点
ウォーミングアップ	5分	<p>スタートゲーム「だまし絵」 「だまし絵」は、視点を変えて見ると、違うものが見える一つの例。一方にとらわれると、他方がみえない。 今回は、「見方を変える」ということを、「もの」ではなく「気持ち」でやってみたい。</p>	2枚のだまし絵を用意 自由に発言させる (以前ワークで紹介すみなので、簡単に復習)
インストラクション	10分	<p>「飲み物を飲まれた！」・・・どう思う？ 教師によるロールプレイ 友だちに、飲み物を一口あげると言ってその場を離れた。帰ってくると、お茶が1/3減っている！ Aの反応：なんでこんなに減ってるん！ Bの反応：まだいっぱい残ってるわ～ 同じ事実を見ても、視点、評価が違う。そして、世界の見え方、感情も違う。 A 「ない」部分を見ている 怒り・不安 B 「ある」部分を見ている 安心・平穀 Aのとらえ方・・・「ポジティブ」(積極的 etc.) Bのとらえ方・・・「ネガティブ」(消極的 etc.)</p> <p>「ステップアップマナー～社会に通用するスキルを学ぼう」シリーズで、会社の人事の方からお話を聞いたように、面接や自己申告書では「自己PR」というのがある。 自分のことを相手に伝える大切な機会だが、みんなはどう伝えるだろうか？みんなの作文では、自分の性格に関して、短所ととらえて書いている人が多かったけれど・・・</p>	<p>大げさに演じる</p> <p>子どもに聞く</p> <p>子どもに聞きながら、言葉の定義を丁寧に</p> <p>社会に出たときは、責任をもつ、マナーを守る、言葉遣いや態度に気をつける等ポイントを思い出させる</p>

エクササイズ	30分	<p>実践コーナー(1) ロールプレイ「ネガティブたっちゃんの面接」 ・自分のことを「ダメなやつだ」と決めつけていたたっちゃんが面接に行きました パターン 教師によるロールプレイ 自己PRで、性格をきかれ、「人のいいなりになる」「自分の気持を言えない」とネガティブに答えてしまうたっちゃん。</p> <p>見ていた感想を、子どもに聞く (あまり良い印象を与えない、微妙、etc.) どうすれば、印象を変えられるだろうか？ ワークシートを配り、短所を長所に書き換える ワークシートを集め、その中から代表案を選んで教師が演じなおす 見ていた感想を、再度子どもに聞く 同じ性格でも、ポジティブ、ネガティブ、両方のとらえ方がある。それはその人のとらえ方なので自由だけど、「面接」の場面では、どちらがふさわしいだろうか？ ポジティブな言い方もできると、自分自身が前向きな気持ちで、自己PRできるのでは。</p> <p>パターン 子どもによるロールプレイ ・「ネガティブ さん」の台本を作り変えよう ネガティブな自己紹介を2つ提示 3つの班で、ネガティブな自己紹介をポジティブな自己紹介に変える 班で意見交流、代表案を1つしぶり、台本作成 各班の代表者は、さんの役をロールプレイ ロールプレイを通じて感じたことを交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2～3名を指名 「人のいいなりになる」 人の話を良く聞く 「自分の気持を言えない」 他者を大切にできる 等 多様な意見をとりあげる
	20分	<p>感じたり、考えたりしたことをふりかえる ふりかえりシートを書く 全体でわかつあう ふりかえりシートを集め、可能な範囲で全体にフィードバック 今日は、一つの見方にとらわれず、ちがう方向からものごとをとらえ直すワークをした。 これは、今だけでなく、社会に出るときにも必要なスキル。自分やみんながマイナスに捉える部分はしっかり認識しつつも、良さを見つけ、大切にする努力は、いつも忘れないでいてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 机を、班の形に変える 班に一枚、ワークシートを配布 誰の意見を選ぶかは、十分に配慮する 「ネガティブ」は必ずしも悪いことではない。場面や目的によって選択できる力をもつことの大切さをおさえる

参考にしたホームページ

NLPコミュニケーション <http://www.nlp.vc/>